

## 令和元年度カキ養殖概況

岩本俊樹\*<sup>1</sup>・村山史康\*<sup>2</sup>

**養殖規模** 令和元年度の漁業協同組合別マガキ養殖状況を表1に示した。全県の経営体数は、前年度から6経営体減少し、138経営体であった。筏台数は、前年度から12台減少し、2,001台であった。

**養殖経過** 本年度における牛窓沖海水温の年平均偏差の推移を図1に示した。4～9月は平年値との差が-0.4～2.3℃の間で変動した。その後、10月上旬から3月下旬は平年値より0.6～2.0℃と高めで推移した。

カキ養殖漁場39定点におけるクロロフィルa量の平均値は、抑制期(4～9月)は5.4μg/Lと、平年(5.3μg/L)並であったが、夏季の変動が大きかった。また、養成期(10～翌3月)は3.9μg/Lと、平年(3.3μg/L)を上回り、特に10月上旬と12月下旬は平年を大きく上回った。

本垂下は主に4月～5月下旬の間に行われ、沖出しは9、10月に、生産は10月下旬～11月上旬の間に例年どおり開始された。年内は例年に比べ殻が小さかったものの、へい死が少なく身入りは良好であったことに加え、他県の生産不調もあり、売れ行きは好調であった。年明け以降は殻も大きくなり、岡山県を除く全国的な生産不調により、冷凍原料用カキの単価が維持された。しかし、暖冬と漁期後半に発生した新型コロナウイルスの影響で生鮮販売用および殻付カキの販売が低迷した。

**生産結果** 成長、身入りとも良好で生残率も良く、10～12月の間の累積生産量は約820t、年間生産量は、生産量が過去10年間で最も低かった前年度に比べ131%の3,380tとなった(表1)。

県が実施したカキ出荷期間中のノロウイルス検査は、140検体いずれも陰性であった。

**その他** 県内採苗は日生町、伊里、邑久町、牛窓町漁協で7月中旬に始まり、8月上旬で予定枚数を確保した。

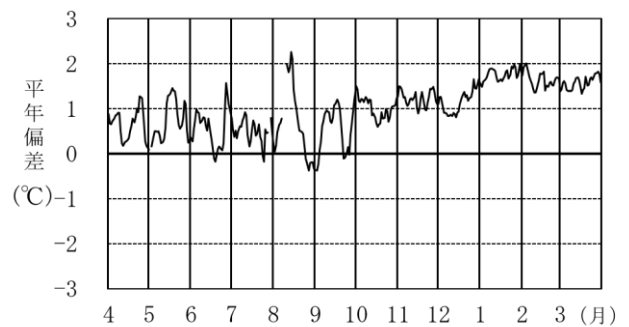


図1 令和元年度における牛窓沖海水温の年平均偏差の推移(平年値は1981～2010年の平均)

表1 マガキ養殖状況(令和元年養殖年度)

漁協名	経営体数	筏台数	沖出し時期 (月/日)	生産時期 (月/日)	生産量	
					むき身(t)	対前年度比(%)
日生町	44	484	10/14 - 10/22	11/ 4 - 4/15	1,517	140
伊里	5	41	9/12 - 9/13	10/31 - 4/ 1	30	566
邑久町	63	1,274	9/17 - 10/28	10/31 - 5/20	1,540	121
牛窓町	5	92	10/19 - 10/21	11/ 4 - 3/31	94	103
寄島町	16	84	10/19 - 10/24	11/ 1 - 5/29	177	157
笠岡市	5	26	10/15 - 10/20	11/ 4 - 5/31	22	180
合計	138	2,001	9/12 - 10/28	10/31 - 5/31	3,380	131

\*<sup>1</sup> 岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課

\*<sup>2</sup> 現所属：岡山県農林水産部組合指導課